

もいのにぎわい通信

2017 年 5 月 27 日 定例活動報告

日時：2017 年 5 月 27 日（土）9：00～15：00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 20～26℃ 湿度 45% 風向 南西 風速 8m

参加者：26 人：子ども 3 人、大人 23（内土地改良区 7 人）

■活動

9:00 スタッフ集合 植樹祭準備

植樹苗：エノキ 5 本、クルミ 7 本、カキ 4 本他 17 本、合計 33 本

苗木と道具の配置、苗木支柱の印はピンク色

駐車場の草刈り、間伐材の運搬

9：30 受付 参加費（子ども/100 円、大人/300 円）

40 植樹会場に移動（自然植生エリア）

45 開会

挨拶：千葉市板倉大椎土地改良区理事長 橋本様

50 グリーンウェイブの意義について 緑の環・協議会理事長 金井

9：55 苗木の植え方の指導 星野

エノキ 5 本の植樹

カウントダウン：(株)オーク情報システム 金子様

10：20 エノキ 5 本へ水やり（世界中で現地時間 10：00 に行います）

25 集合写真

10：30 第 1 グループ植樹：トサミズキ、シナモン、キンモクセイ、エゴノキ（各 3 本）、クルミ 7 本、
カキ 4 本、ヤマザクラ 1 本

第 2 グループ植樹：被爆アオギリ 2 本、クリ 2 本

11：30 休憩

来賓挨拶：千葉市自然保護対策室 川西様・國岡様

(株)オーク情報システム 金子様

あすみが丘国際交流 室谷様

12：00 昼食

13：00 野菜苗の苗植え

枝の剪定・クズの除去、除草作業

14：30 片付け

15：00 解散

■活動報告

当地で行われているグリーンウェイブ植樹祭も今年で 8 年目となります。

木々も成長して植樹するスペースもなくなり、今回は、自然植生エリアでの植樹となります。

今年は、東京ガス環境おうえん基金からの助成金でエノキ 5 本をはじめ 9 種類、計 33 本。自然植生エリアをメイン会場に植樹しました。

毎年恒例になっているグリーンウェイブは、参加者が一体となって行う特別なイベントです。今回は、チラシ 2,000 枚を千葉市教育委員会の後援を得て、近隣小学校 5 校(大椎小、あすみが丘小、土気南小、大木戸小、土気小)と町内会、あすみが丘プラザ、土気公民館にも配布しました。

始めに地権者である土地改良区理事長の橋本さんから活動地の経緯とここが観音地(2.2ha)周辺に広がる水田(30ha)の水源涵養林を担っている重要な場所であり、皆で森の復元を行って来ており、今年で 10 年目となる。マツやクヌギ・コナラは順調に成長しているが、最初に植えたスギの成長は良くない。今後も水源涵養林の復元に向け活動を続けていくとの説明がありました。

次に緑の環・協議会の金井理事長からは今回の植樹祭は、国連のグリーンウェイブ運動に登録することで地球規模の運動に参加しており、カウントダウンにより千葉から世界へ環境保全を発信しているとの説明がありました。

最後に星野さんから今回の植樹のメインとなるエノキの植える意義と苗木の植え方の説明がありました。国チョウであるオオムラサキがエノキで卵を生み幼虫で冬を越し、6 月頃に羽化し、成虫はコヌギ・コナラの樹液で成長する。今回エノキを植えることによりオオムラサキが当地を飛来することを期待したいとコメントがありました。その後参加者全員でエノキ 5 本の植樹を行いました。

10 時 15 分になり第 1 回からカウントダウンを担当して頂いている(株)オーク情報システム喜多様が欠席の為、同僚の金子様がカウントダウンして、エノキ 5 本へ一斉にジョーロで水を掛けました。

その後参加者全員で記念撮影を行い、2つのグループに分かれて植樹を行いました。

燦々とした陽ざしに暑さも加わりましたが、穴掘りに格闘しながら参加者が一人 1 本の木を植え終えたという達成感と充実感がありました。植えた後に各自の名前が入った植樹プレート苗木支柱につけ植樹の記録としました。

休憩時には、第 1 回植樹祭から後援・支援を頂いている千葉市自然保護対策室川西様・國岡様、第 1 回植樹祭から参加・自宅で苗木を育て毎回苗木を提供して頂いている(株)オーク情報システム金子様、国際交流 室谷様 からの挨拶がありました。また、ボランティア参加の皆さんからの感想もあり交流が図られました。

午後からは枝の剪定・クズの除去、除草作業、野菜の苗植え、畑の手入を行いました。

お陰様で、皆様のご協力で予定通り無事に活動を終えることができました。

当地は、山砂採取跡地で木が育つには不適な土壌と専門家のご指摘がありましたが、少しずつ土壌改良を重ね 2008 年 3 月にクロマツやコナラ、クヌギなど植え、2010 年 3 月にアカマツを植えました。

今回の植樹で約 3,500 本となり、植樹した木々もこの 2～3 年で急速に成長しています。木々の成長と共に木々のメンテナンス(枝の剪定、除草作業、クズの蔓きり等)が大変になって来ています。

今の人員では限界があります。森の救助隊?を募集していますので、ぜひ皆さんの参加をお願いします。

(記録：星野正人)

.....

■森もりあそび隊

少し暑い日になりましたが、5 月の風が心地よく、植樹祭にとっては天候に恵まれました。

楽しみにしていたグリーンウェイブ。

今年のカウントダウンはエノキです。

皆で一斉に植えたエノキの苗と共に、子供達は大きくなります。
その子供達が子供のうちに、「オオムラサキ」は来てくれるでしょうか？
いつか、この森で、植えた子供達が青い美しい蝶を追いかけて走る姿を想像します。
そして、みんなでジョウロで水やりをした今日の日の気持ちを他の子供達にも分けてあげたいです。
それが終わると、今度は自分たちの好きな木を選んで植樹を進めていきます。
トサミズキを選んだ子供達は率先してスコップを持ち穴を掘ろうとしますが、土や草の根がとても固いので、堆肥を入れ混ぜることをしました。
力仕事は大人の男性にお任せして、最後の水やりを担当しました。
自分たちが植えた木に名札を付けて、終了です。
お昼近くになると、日差しが強くなりましたが、ここから更に子供達は活動力を発揮。
桃の味の苺のいちご狩りが始まりました。
大人たちも力を合わせて数え切れないほどの苺を収穫しました。
そのままお昼ごはんのテーブルに並べ、桃のようないい香りと共にランチタイムです。
お腹いっぱいになったあそび隊は、休む間もなくツリーハウスへ向かいました。
おなじみのブランコで遊んだり一番高いところまで登って、緑の景色を満喫してきたようです。
“森もりあそび隊”のお仕事はまだまだあります。

キウイの摘果

ゴーヤ、キュウリ、カボチャの苗の植え付け

トマトの脇芽かき

じゃがいもの土寄せ

どれも、「やりたい！やりたい！」と真剣にこなします。

今回は植樹をしたり、手入れをしたり、収穫したりと、地球と沢山おしゃべりをしました。

その気持ちと行動力は、きっとこの先この森が“森もりあそび隊”の皆や地球の子供達に何かの形で返してくれるでしょう。

(記録：長菅千夏)

.....

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、6月24日(土)(雨天時6月25日(日))に行います。

除草作業・畑の草取り・枝の剪定・クズの除去を行いますのでよろしくお願いします。



集合写真



土地改良区 橋本理事長挨拶



グリーンウェイブの説明



苗木の植え方の説明



エノキ (5 本) 植樹





皆でカウントダウンを待つ



カウントダウン後、一斉に水を上げます。



大きく育つといいね！





2 グループに分かれ植樹



カキの苗木を植えています。



トサミズキを植えよう



イチゴの収穫 楽しそう



たくさん収穫できました。



キウイの摘果、ゴーヤ、キュウリ、カボチャの苗の植え付け、トマトの脇芽かき作業



枝の剪定



収穫したイチゴ、おいしそう



葉っぱに隠れたキウイの花